



親子のふれあい

1冊の絵本に群がる子どもたち。子どもをぶどうの粒にたとえました。太陽の光をたっぷり浴びて、土に含まれる栄養を十分に吸収して育ったぶどうの蔓には、甘くておいしいぶどうがたわわに実ります。人間も一緒です。親の愛情をいっぱい受け、伸び伸びと育ててほしい。その願いを込めて「ぶどうの会」の活動は行われています。今年の7月で結成10年目を迎え、さらにこの輪を広げていきます。文化の日、ぶどうの会は町善行賞を受賞しました。(今年の町表彰者については次ページに記載)

今月の内容

町表彰式	2~3
やさしい社会を目指して	4~5
わが故郷への思い熱く	6~7
ふるさとへの便り	8
紙面国際交流コーナー	9
にぎわったスポーツ祭	10
子どもの人権を守ろう	11
子どもたちの考えはいま	12~13
まちの話題	14~16
図書室だより	17
お知らせ	18

お知らせ

平成9年度宮崎県東京学生寮入寮生の募集

◎対象 県内に居住する者の子弟（これに準ずる者を含む。）で、東京都およびその周辺に所在する大学・短期大学に入学見込みの男子学生。

◎募集人員 50名程度（1部屋2名定員）

◎入寮期間 平成9年4月1日～平成11年3月31日

◎寮費 月額 18,000円（食費、電気料金別途）

◎募集期間 平成8年11月11日（月）～平成8年12月10日（火）

◎問い合わせ 宮崎県総務部管財課
〒880 宮崎市橋通東2-10-1
☎098512617017

教育委員会のパソコンの利用を

このほど、町生涯学習課にパソコン通信を利用して県の情報の提供が得られるシステム「まなびSUNETみやざき」が設置されました。

県や各市町村が行う生涯学習に関する情報や県立図書館が所蔵している図書や雑誌などの検索、貸出しの予約もできます。

利用を希望される方は、町教育委員会生涯学習課まで。
☎5211111 内線352番

成人式の通知がない方へ

新成人者の皆様には、12月上旬までに成人式の案内をはがきで通知する予定です。

12月中旬を過ぎても届いていない方は、町教育委員会生涯学習課までご連絡ください。
☎5211111 内線352番

愛の献血

次のとおり、献血にご協力いただきました。

9月18日 大悟病院 44名
（イトウソーイング） 19名

この人

新しくなった 宮崎北署へ お越しく下さい

宮崎北警察署 署長 上村 義春 (59) (上米出身)

宮崎北署は、県都宮崎市を管轄する県下で一番忙しい警察署です。現在署員は約300人、みな北署で勤務できることを誇りとして元気いっぱい頑張っております。ぜひ一度、近代整備された新庁舎の見学にお越しく下さい。お待ち致しております。

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次のとおり頂きました。故人のご冥福をお祈りいたしませと共、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。誠にありがとうございます。

平成8年10月1日から平成8年10月31日まで

寄付者 続柄 故名 地区 金額
岩本 寛美 妻 ミヅ子 59 神田 2万円

愛の「ご寄付」

10月14日 白井木工株式会社 24名
都城東高校 205名

ご協力ありがとうございました。献血の推進は、事業所の深い理解と協力がないと実施できません。今後とも事業所をはじめ皆様の暖かいご協力をお願いいたします。

情報募集中!

身近な話題などありましたらどんな小さなことでも結構です。どしどしお知らせください。役場総務課秘書広報係
☎5211111 内222

山下コト	夫	道政	79	5万円
加藤良男	母	マツカサ	66	5万円
木下芳子	夫	恩	74	2万円
永井和子	夫	純勝	70	5万円
岩屋勝義	母	トシ子	74	3万円
樹形弓子	母	坂元義	73	3万円
山元信吾	父	光雄	66	3万円
竹田キミ子	父	綱久	66	2万円
別納軍一	父	鉄弥	83	5万円
大久保 積	母	ユキエ	78	5万円
瀧脇治之	母	カオル	79	2万円
白井君夫	母	モヨ	63	3万円

三股町の人口

平成8年11月1日現在

男	11,165人	出生	23人
女	12,299人	死亡	17人
計	23,464人	転入	123人
前月比	+47人	転出	82人
世帯数	8,249戸 (+12戸)		

広報みまた12月号は休みます。1月特集号をお楽しみに！1月5日発行です。

1年間は基礎練習、2年目からは対外試合、3年目やっとな願の全国大会出場。うまくいけばいいが……。ちょっと待って、3年後は違うデスクで仕事をしているかも？

町民の皆さんが喜んでいただける紙面づくりが最も大事。その影響が大きくなることは即ち地区予選を勝ち抜いて全国大会に出場できることなのか？

私は、広報の担当になって半年あまり。全国大会を知ったのは、つい最近です。

編集後記

広報紙の全国大会があるのをご存じですか？

一般的に全国大会というと、体育競技、芸能などをイメージすると思います。

私は、広報の担当になって半年あまり。全国大会を知ったのは、つい最近です。

町民の皆さんが喜んでいただける紙面づくりが最も大事。その影響が大きくなることは即ち地区予選を勝ち抜いて全国大会に出場できることなのか？

11名、2団体を表彰



後列左から ぶどうの会、藏元さん、横山さん、和田さん、蓼池青壮年部、原口さん、篠原さん
前列左から 永吉さん（代理）、今村さん、盛田さん、野口議長、山元町長、下沖さん、大崎さん、園田さん

平成8年度町表彰式が11月3日、役場大会議室で開かれ、元農業委員会会長の下沖與一さん（73歳）ら11名2団体が表彰されました。表彰式は、各分野で本町の発展に貢献された人や町民の模範となる善行をされた人を顕彰するために毎年「文化の日」に開催されています。式には、町三役をはじめ、町議会や教育委員、自治公民館長、各種民主団体の長など関係者約120名が出席し、受賞を祝福しました。受賞者の功績を紹介します。

行政特別功労賞

「農業の振興に20有余年」

下沖 與一さん（73歳）

昭和50年7月から平成8年7月までの21年間、農業委員会委員として公正な農業行政を遂行され、農業経営の合理化、農業者の生活改善等を提唱しながら本町の農業発展に尽力されました。

昭和59年7月から6年間、副会長を、平成2年7月から3年間、会長を務められています。

大崎 徳重さん（73歳）

昭和41年7月から昭和52年7月、昭和56年7月から平成8年7月までの通算26年間、農業委員会委員として公正な農業行政を遂行され、農業経営の合理化、農業者の生活改善等を提唱しながら本町の農業発展に尽力されました。

昭和50年7月から昭和53年7月、平成2年7月から平成5年7月までの通算6年間、副会長を務められています。

功労賞

（行政部門）

「農業委員として活躍」

園田 稔さん（75歳）

昭和56年7月から平成8年5月までの14年10カ月間、農業委員会委員を務められました。

この間、農地部会副会長などを歴任され、農地利用促進事業などに力を注がれ、地域はもとより本町の農業発展に寄与された功績は大きなものがあります。

（社会部門）

「青少年の健全育成に貢献」

盛田 藩さん（74歳）

昭和56年4月から平成8年3月までの15年間、県警が委嘱する少年補導員として青少年の非行防止に尽力されました。

この間、町内の補導員7名のリーダーとして陣頭指揮を取られ、月1回と春・夏・冬の休み期間や祭りには街頭指導を行うなど本町の青少年健全育成や犯罪防止に寄与された功績は大きなものがあります。

（体育部門）

「町陸上界に新風」

今村 修さん（25歳）

中学校から本格的に陸上に取り組み、高校、大学と短距離選手として活躍。数々の大会で優秀な成績を収めています。

現在、高校教師として教育に携わるかたわら、陸上の練習に熱心に取り組み、平成8年度第51回九州陸上選手権男子1000mでは10秒49の好記録を打ち立て、見事に優勝されています。

その華々しい活躍、輝かしい実績は本町の体育の進展に大きく寄与するものがあります。



▲受賞者を代表して謝辞を述べる下沖さん

善行賞

「母校にピアノを寄贈」

永吉 紀彦さん（49歳）

現在福岡市に在住。このほど母校愛と児童への温かい思いやりから勝岡小学校に高価なピアノを寄贈されました。

「献血に率先して協力」

横山 功さん（63歳）
原口 繁さん（56歳）
篠原 秀靖さん（55歳）
藏元 信義さん（54歳）
和田 文夫さん（53歳）

5名の方々は献血の重要性を深く認識され、多年にわたって献血に協力されてきました。その献血回数は、50回を数えます。

この相互扶助精神は他の模範とするものであり、社会福祉の発展に大きく貢献するものです。

「親子に愛をプレゼント」

ぶどうの会

昭和61年7月に発足。毎週水曜日、中央公民館で、絵

「きれいな町をつくる」

蓼池青壮年部

昭和57年4月から蓼池地区内の道路や河川、公園などを定期的に清掃するほか、街路沿いに鉢を設け花を植えるなど環境美化活動に積極的に取り組まれ、明るく住みよい町づくりに大きく貢献されています。

現在、部員数45名。



▲鉢に花の苗を植える部員

やさしい社会を目指して 「第1回社会福祉大会」を開催

いま、それぞれの自治体は少子化、高齢化が急速に進むなか、複雑多様化する福祉問題に頭を悩ませています。また、高齢者や身体障害者、知的障害者などハンディキャップを負った人々の生活を保証し、積極的に社会参加ができる社会構造を構築することは、行政のみならず社会全体に課せられた大きな課題です。こうした問題を解決するためにはどうしたらよいのでしょうか。町では、様々な福祉問題を町民や福祉に携わる関係者が真剣に受けとめ、心豊かな地域福祉を創造しようと10月27日、町体育館で「第1回社会福祉大会」を開催しました。

76名1団体を表彰

この日、会場となった町体育館には、町議会、小中学校長、各種民主団体の代表、福祉関係者など約130名を来賓として招いたほか、福祉に対する関心の高さを反映して約1,000名の町民が詰めかけ、会場はあふれんばかりの状態でした。



▲自立更生者として功労賞の表彰を受ける白坂京子さん

長は、「これからの福祉は、人々やさしい町づくりを柱に、高齢者や身体障害者などハンディを負った方々が快適な生活を送れるように町民の皆さんと手を携えて福祉行政を推し進めていきたい」とあいさつ。

その後、町は社会福祉の発展に功績のあった43名と1つの団体を功労賞として、国民健康保険加入世帯で長年にわたって医療費給付を受けなかった22世帯を健康優良

世帯として表彰しました。また、老人クラブ連合会は役員として長年功労のあった3名と寝たきり者の介護にあたって8名を表彰しました。

受賞者を代表して馬渡平男さん(82)は「本日、光栄な賞をいただいたことはこの上ない喜びです。これからも町の福祉発展のために微力ながらお役にたきたい」と謝辞を述べました。

受賞者は次の方々(敬称略)

◎社会福祉事業功労者

(民生委員・児童委員)

横山次男・黒木 博・荒武行男・大村良生・谷山 勝・山本ナミ子・西田文夫・児玉ツギ

(社会福祉施設関係者)

松谷英樹・久松市子・加治屋ミラ子・榎田ゆみ子・有村紀子・前田孝子・井上美智子・今村珠江・下村敬子・瀬戸山和子・大村フサ子・永野淳子・桑畑則雄・米村國典

(民間社会福祉団体)

小牧正二・今村文子・馬渡平男・横山ミツエ・桑畑ハツ子・黒木絹・余吾ミツル・内村タツ

(社会福祉民間奉仕者)

永井キミ・別府次夫・下沖ツルエ・西村ハナエ・下沖秀行・児玉輝美・上牧ミツ子・木下ツルエ・木下静子・白坂京子・白井ミツ・碓山銀蔵・坂元年郎

(社会福祉民間奉仕団体)
都城東高等学校



▲健康優良世帯表彰を受ける方

◎健康優良世帯表彰

高畑實男・野崎二郎・田上重光・下村妙子・中村健一・山領一郎・假屋光義・山田清子・黒木フミエ・福留フチ子・梶原恒夫・吉川正秋・小倉トキエ・山下ヨシ子・飯田ユキ・大盛スミエ・山領ナル子・新原築・轟木辰美・野崎クミエ・畑中利行・中内ミエ子

◎町老人クラブ連合会長表彰

(永年役員、クラブ育成の部)
丸田義男・上徳重則・黒木昌幸(ねたきり者の介護の部)
上村和子・久保はつ子・米村イツ・去川チサ・栗野敏・佐澤トミ子・月野清秋・福永京子

障害者の苦勞を実感

この日、町内の小中学生5名による福祉啓発作文発表も行われました。発表は、体験談や日常生活の疑問点など様々。

ある児童は、夏休みに開催された「子供のためのボランティア講座」に参加。そこで、手話や点字を学んだり車椅子を初体験して障害者が日ごろ抱えている苦勞を味わい、健康であることがいかに大事であるかを実感した。同時に、これからのように障害者と関わっていったらよいのかという意見を発表しました。

会場に詰めかけた参加者は、5名の発表に真剣に聞き入っていました。



▲子どもの真剣な発表

発表者は次のとおり(敬称略)
三股西小学校5年 上村 由香
梶山小学校6年 大谷 明弘
勝岡小学校6年 山口 香織
三股中学校1年 福田佳奈子
三股中学校2年 中田弥沙紀
その後、母子寡婦福祉会会長の福山陽子さんが大会宣言を読み上げ、参加者一同「心豊かな住みよい福祉のまちづくり」のため協力していくことを誓いました。



▲宣言する福山さん

宣言文の一部

子供からお年寄り・障害者を持った人々一人ひとりが、それぞれの個性と能力を発揮し、健康で生きがいのある充実した生活を送ることができる「人々やさしい三股町」「いつまでも住み続けていたい三股町」の福祉の町づくりが、豊かで住みよい活力ある三股町づくりであり……今日の社会をめぐる諸情勢を認識して、生きがいのある真に心の豊かな長寿社会の実現に取り組みます。

記念講演

心に感動 元気の秘けつ



鈴木誠司先生

(プロフィール)

1927年東京生まれ
作家、教師、雑誌記者、骨とう商、その他職歴多種。
第48回織田作之助賞受賞。作品として「常なる者の棲む」など。

大会のメインとなる記念講演には、宮崎市在住の日本文芸協会会員で作家や雑誌記者などとしても活躍されている鈴木誠司先生を講師として招き、「私の元気主義」という演題で講演をいただきました。「最近、お目にかかる高齢者

棒踊りと童謡が披露

大会の最後を飾るアトラクションは、講演の後に「新馬場に古くから伝わる勇壮な棒踊り、



▲草留さんの独唱



▲棒おどりの模様

ひかり保育園の園児たちによる童謡の合唱、草留るり子さんによる独唱などが披露。会場割れんばかりの拍手が鳴り響き盛況のうちに終了しました。

盛り上がった スポーツ大会

大会終了後、昼食をはさみ、会場を武道体育館に移して「福祉スポーツ大会」が開催。老人クラブ会員や民主団体の役員など約600名が参加し、居住地ごとに7チームに分かれ、和やかな雰囲気の中で競技が行われました。



ほとんどが団体競技で、2人1組のものや小道具を使ったユニークなものまで多種多様。なかには2度3度失敗を繰り返して、会場いっぱい笑い声が沸くことも。予定した時間を大幅に越え、楽しい一時でした。

大会記念にごみ袋を

7月1日からごみ収集袋を町指定にして早4カ月。町では、分別の徹底とごみ減量化への取り組みを促す意味において、第1回大会を記念して参加者全員に指定ごみ袋(大)を差し上げました。

わが故郷への思い熱く

第13回在京三股会開催



第13回在京三股会総会

故郷を離れ、都会で生活している方々にとっては、ふるさとに対する思いはひとしおのものがあるようです。

関東で活躍する三股町出身者で構成する「在京三股会」は、そうした人々が集まって組織されたもの。

昭和59年の結成で、現在、東京都・神奈川県・埼玉県などに在住する方を中心に約400名が加入しています。

去る10月26日、その第13回の集いが盛大に開催されました。

故郷がなつかしい

この日、会場となった東京都浜松町のチサンホテルには、会員約60名が参集。その顔ぶれは、会社員、公務員、事業主、主婦など様々で、年1回の集いを楽しみに、遠くは2時間以上かけて駆け付けた人もいました。町からは、山元町長、野口議長をはじめ6名が出席。

会の冒頭、岩崎俊雄会長（新馬

第13回在京三股会総会



岩崎俊雄会長のあいさつ

場出身）は「今日だけは、ふるさとに帰ったつもりで諸県弁を使ってみよう」との思い出を語り合い、楽しい一時を過ごしてください」とあいさつ。

山元町長は、「ふるさと三股町は、豊かで住みよい活力ある町づくりを目指して、いまだ大きく変わろうとしています。また皆さんの期待に応えられるよう一生懸命頑張っています。遠く離れていても、会員の方々がふるさとを誇れるように、これからもなお一層頑張っていきます」と熱の入った言葉を述べました。

野口議長は「皆さんの元気なお姿に接し、頼もしく感じます。皆様方のふるさとに対する期待を一身に受けとめ、これからの町政の発展に議会としても真剣に取り組んでいきます」と挨拶しました。

毎年、楽しみです

その後の懇親会では、幼いときに遊んだあの場所、あの日を思い出しながら昔話に花が咲き、まるで幼年時代にタイムスリップしたかのような雰囲気さえ感じられました。



野崎二三男さん (48歳) (轟木出身)

この会を知ったのは、昨年帰郷した時のことです。たまたま「広報みまた」を手にして読んでいたこの会の開催案内が掲載してありました。そこで早速申し込みをして、参加した次第です。

今年で2回目になりますが、ふるさとへの思い出がよみがえり本当に楽しい一時を味わうことが出来ます。

これからも、この会の開催を楽しみにしています。



▲盛り上がったビンゴゲーム

夫婦で参加して

5年になります



大重 勇治さん (54歳) (上新出身)
大重ヨリ子さん (55歳) (前目出身) (旧姓 木村) ご夫妻

私（勇治さん）は、発足と同時に参加しています。兄（荒武敬治さん）の紹介によるものです。5年前から、妻もゆつくりする時間が取れるようになったので、一緒に来るようになりました。夫婦で参加するようになってから、折に触れ、田舎の事が話題となり、今まで以上に望郷の思いが強くなったようです。



▲1年ぶりの再会

私は、昭和35年におふるさとを離れ、東京で生活を送ってすでに36年が経ちました。この会の発足は、今から13年ほど前、佐沢利和さん（山王原出身）や山内保良さん（長田出身）など5名が集まり、ふるさとの思い出を語り合おうと約30名の方々に呼び掛けたのが始まりです。三股で生活していたころ教師をやっていたので、会員の中には教え子もちらほら……。もうこんなに大きくなったかと思うと同時に



副会長 北川宇城さん (69歳) (梶山出身 旧姓: 瀬尾)

教え子と会うとは

事務局のうら話

案内状は 400通にも及ぶ

幹事役 新森修さん (43歳) (蓼池出身)



私は、友人の紹介で4年前から参加しています。この会に初めてきた時は、期待とは裏腹に年輩の方が多く残念でした。しかし、参加している方と話をすると共通する話題が多く、楽しい一時が過ごせました。

現在、この会の幹事役を受け持っています。年1回の催しをするために2回ほど役員会を開き、1ヵ月前から約400名の方に往復ハガキを郵送しています。

確かに大変な作業ですが、その分皆さんが楽しんでいただけるので苦勞とは思いません。若い方々の参加を望んでいます。(連絡先) 〒293 千葉県富津市二間塚1640-8 ☎0439-87-8051

私にも年をとったのだなあと感じました。しかしうれいしいものです。

故郷へ熱い期待

今回の集いに参加された方々の思いは一つ。それは、何よりもふるさとを愛していること。皆一様に、これからの町の発展を願いつつ、昔、親しんだ自然をいつまでも大事にしてほしいと話されていました。

いきいきさん

⑦



原口 一善さん

国道269号線、蓼池交差点の一角で自転車販売業を営む原口一善さん（61）。父親の後を引継ぎ2代目。

「父は体が弱かったので幼いころから店を手伝いました。本格的に販売業に従事したのは昭和28年、父親が亡くなったからです。」

原口さんは別の顔も持っています。毎週火曜日と木曜日の朝は、りりしい姿に大変身。一見するとお巡りさんに見間違えるほどです。それは、地域の子供たちから「交通安全のおじさん」と親しまれ、通学時間になると交差点で街頭指導にあたる交通指導員。

「私の妹は、若いころ婦人警官でした。そのころ、交通指導員をやってくれないかとお願ひされて引き受けたんですよ。」昭和43年、警察署から町内の3名に委嘱された交通指導員のうち

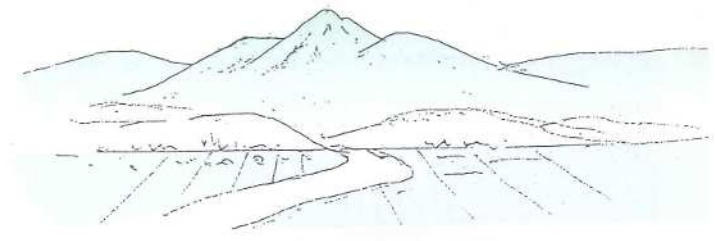
子どもの安全を願って

その後、昭和47年4月、町に指導員制度が定められ、交通指導員に任命されました。「あの頃、一番下の子どもが中学校を卒業するまで務めようと思っていました。まさか今まで務めるなどとは当時思ってもいませんでした。」

現在、男性9名、女性9名の計18名の指導員のリーダーとして活躍。「三股町は4・5年前まで県内で1番交通事故の多い町でした。そのころ、なぜ多いのかと悩みましたね。指導員で何かできないものかと考えました。」

そして始まったのが、毎月第1、第3金曜日の夜、町の中心部で行う街頭指導。「交通指導で一番大変なのは、真冬、霧島おろしが吹くころですね。雨混じりだとおさらのことで、「一番うれしかったのは、小学校（勝岡小）の生徒たちから手作りの感謝状をもらったときです。」

「まだまだ元気です。頑張っています。子どもたちの安全を祈って……。」寒い冬を前にしてにこやかに話されました。



作詞家

山田 孝雄 (50)
(梶山出身)



ふるさとへの便り

春下がりには真白い綿帽子をつけた夏椿が庭先でうつすらと化粧を始めた。まるで頬紅のように……秋は人恋しい季節です。ふるさとにはどんな花が咲いていますか？

私がふるさとを後にしたのは二十三才の時でした。それまで大学に四年間通い一度はあきらめた東京へ、ふたたび作詞家になる夢を抱いて旅立ったのです。

三股町で育んだ「んにゃ」と言う素晴らしい反骨精神をひとつぶら下げ急行高千穂号に乗ったのでした。

もし夢に破れたらもう二度とふるさとへ帰らない。そっと胸の中にしまいこんだふるさとでした。そして三年目。今では大スター

です牧村三枝子さんのデビュー曲が決まりました。「恋人形」と言う詞です。

昨日まゆみが 町を出た
今日は私が 町を出る
声にならない さよならを
汽車の汽車の窓から
捨てながら

牧村三枝子も同じように炭鉱の町美唄から逃げ出すように東京へ来ていました。ふるさとがあたりプレゼントした楽曲でした。ヒット賞を頂き僕は作詞家になれたのです。

五十才になりふるさとが恋しくなり、鹿児島弁の歌をただ今製作中です。待っていて下さい。夢がある限り歌を書き続けます。明日が来る限り哀しみは乗り越えられます。三股町の「んにゃ」精神にひとサジの協調性を加えて今まさに日本一の歌書きになろうとはまって頑張っているところです。

三股町のいいところは景色の素晴らしさです。ゆるやかに山脈が続き動かすの緑の田園風景が続きます。何も無い所で心は豊かになります。都会がどんなに着飾っても自然の美しさにはかないません。



▲中山大三郎先生と一緒に

都会のどんな豪邸よりも、梶山の入口にぼつんとあった私の家がかつたことに気づきました。何しろ沖水川まで何千坪何万坪が庭みたいなものです。幼ない頃見た広大な夢が今でも私の心に住みついでいてくれます。

三股町の友達はみんな仲良くしています。上新出身の日高悦男君は不動産屋の社長です。いつも僕に御馳走してくれます。栗東にいる中央競馬会の調教師の橋口弘次郎君は東京に馬を連れてくる度我家に泊まります。ダービーを勝つて朝までみ続ける夢を見せてくれます。今年はダンスインザダークで惜しくも二着、悔しい酒

をくみ交わしましたがこの悔しさがまた明日の勇氣になります。防衛庁ですごく偉い人になってる桑畑義弘君も近くです。僕の息子をP3Cに乗せてくれたりします。本当にいい友達です。何も言わないけど、口べただけどそこがいいのです。

帰省した時に一緒に集まってくれる仲間が大好きです。ふるさとの温もりを皆持ち寄って来てくれます。また帰ったら遊んで下さい。最後に僕の新曲の宣伝をさせて下さい。頑張っている新人奈月昇子(クラウンレコード)の「船宿にて」は売れています。野球選手の高橋博満と林り子の子のデビュー曲「涙濁くまで」もいい曲です。コロンビアレコードです。もうすぐ発売になる山本譲二の「愛は旅人」キャニオンレコードもよろしく。

次回はもしかして菊花賞で夢を達成しているかも知れない。祈っています。橋口弘次郎君(前目出身)にリレーします。

紙面国際交流コーナー



ジェーソン・ウィリアムス

最近、昼間は暖かいのですが、朝と夜はちよつと寒くて、秋の新涼が届いてきたという感じがします。昼と夜の温度の差が大きくなったので、もうカゼを引いてしまいました。

秋は食欲の秋といえます。私もその事を実感します。夏はそんなに食べられなかったのに、秋になってから大食い食欲が完全に回復しました。一人暮らしなので、たまにはちゃんとした料理を作らなくてはなりません。最近では調理をすることに気が進まなくなってきました。どうしようかなとずっと悩んでいて、見事な解決策を見付けました。というのは、しばらく三食昼寝付きのところへ移動すればいい。そうすると、調理をしなくて済むし生活が楽になります。実は、十月下旬(この原稿を書き終わるころ)に

町立病院にお世話になることになりました。どのぐらい入院するかはまだ分かりませんが、去年入院した時、食事が『うんめもうんめ』という思いが残っているのでも、楽しみにしています。是非お勧めします!? (笑)

礼儀の基準

町立病院にお世話になることになりました。どのぐらい入院するかはまだ分かりませんが、去年入院した時、食事が『うんめもうんめ』という思いが残っているのでも、楽しみにしています。是非お勧めします!? (笑)

礼儀を重視している国の一つだと思えます。日本語を習い始めた頃、上下関係によって言葉遣いが全然違うということが大変不自然に思いました。英語はそれが無いので、私は、日本語を使う時、まず相手はどういう人なのか、つまり内向的か外向的か、また、目上か目下かということを考えなければならぬことに注意するあまり、頭が疲れてきました。新しい言語を習う場合は最初にまねする

して理解することができ、日本人はそれを大事にしているのだなと思えました。そのことを感じたのは次のような出来事からです。日本では、誰かが怒ったら、冷静な顔付きを保って、相手に自分の言いたいことをすぐに伝えず我慢をして、後から相手に自分の気持ちを言う傾向が強いと思います。怒った様子を見せないといいことは日本の一つの礼儀だと言えりかもしれません。聖徳太子が十七条憲法の中に初めて「和



▲11月12日 病院にて

という言葉を用いたと、最近知りました。この礼儀は長い歴史があることに気が付きました。でも、礼儀の基準は色々あります。この頃、ある日本人が私に『ロンドンにいる間、町で知らない人と偶然におつかつた時、相手がすぐ怒って、怒鳴っていた』と言いました。もちろんそうする人もいないわけではありませんが、どちらかというといギリス人は保守的な方だと言われています。以前、イタリアやロシアに行った時、ビックリしたことがあります。バスに乗って、互いに叫んでいた二人を見ました。二人の男がどちらも怒って、もうすぐ殴るのではないかと思いましたが、不満を全部吐き散らした後、平常心に戻りました。後の会話を聞いて、友達なのだと分かって驚きました。もし海外に行つて、このことを見れば、それは礼儀の基準が違うのだという風に理解して下さい。

お詫び
ふるさとまつりで「国際交流コーナー」を計画したのですが、入院したためにできませんでした。本当にごめんなさい。そして、前回広報紙で紹介したカルメン・クントツの写真を間違つて掲載しました。またまたごめんなさい。

にぎわったスポーツ祭

6種目に約1,200名が参加

第4回さわやかスポーツ祭が10月13日(日)、武道体育館をメイン会場に、1,171名もの選手が参加して盛大に開かれました。開会式は、午前8時30分から同体育館で行われ、その後、勤労者体育センター、河川敷公園、中央テニスコートなど数会場に分かれ、6種目で熱戦が繰り広げられました。

結果は次のとおり
子供相撲
 (男子団体)
 優勝・宮村B 準優勝・宮村A
 第3位・前目



(女子団体)
 優勝・東原 準優勝・宮村A
 第3位・宮村B

卓球
 (男子団体1部)
 優勝・紫光クラブA
 準優勝・MITOP
 第3位・東高校A
 (女子団体1部)
 優勝・もくれん会
 準優勝・宮崎クラブ
 第3位・青少年クラブ
 (男女共通2部)
 優勝・三股中A
 準優勝・三股中D
 第3位・三股中B

ミニバレー
 (フリーの部)
 優勝・土曜クラブA
 準優勝・つくしミニC
 第3位・つくしミニA
 (36歳以上の部)
 優勝・はまゆうA
 準優勝・はまゆうB
 第3位・そよ風A
 (46歳以上の部)
 優勝・ナインクラブ
 準優勝・上新ミニ

テニス
 (1部トーナメント)
 優勝・しんちゃんB
 準優勝・クラブMAX
 (2部トーナメント)
 優勝・ハルミクラブ
 準優勝・トマト&レインボーC
 (3部トーナメント)
 優勝・NNT
 準優勝・しんちゃんA
ミニテニス(ダブルス)
 優勝・堀内和義・堀内涼子
 準優勝・児玉八一・中田幸子
 第3位・中村力男・釘崎令子
グランドゴルフ
 (男子)
 優勝・山元重秋
 準優勝・指宿久
 第3位・山田茂
 (女子)
 優勝・野中トミ
 準優勝・中村洋子
 第3位・瀬尾トヨ



第3位・つくしミニA

第3回三股町わんぱくグランドゴルフ大会
 町内の児童の交流と親睦と健全育成を図ろうと町と町内23の母親クラブが中心となって、10月26日、三股橋河川敷公園を会場に、わんぱくグランドゴルフ大会が開かれました。
 大会には、各児童館の呼び掛けによって集まった町内の小学校の児童179名と、児童厚生員や職員24名、母親クラブ39名、民生委員・児童委員などの来賓21名の計263名が参加。
 1チーム約8名から9名で編成し、28チームによって競技を行いました。
 大会に先立ち大会会長の中原美幸さん(町母親クラブ連協会長)は「今日は、沢山の友達をつくってください」と挨拶。
 ゲームは、低学年の部(1年)

元気はつらつプレー

第3回三股町わんぱくグランドゴルフ大会

3年)、高学年の部(4年~6年)で競われ、和やかな中で白熱した戦いが繰り広げられました。
 ◎ゲームの結果(敬称略)

低学年の部(1~3年)
 優勝 石灘 麻衣 (3年)
 第2位 上池 寿樹 (3年)
 第3位 小牧 誉和 (3年)
高学年の部(4~6年)
 優勝 吉田 健太 (6年)
 第2位 園田 空也 (6年)
 第3位 千代森 裕司 (5年)



お知らせ

第5回交通安全啓発駅伝競走大会

今年も、12月恒例となった地区対抗駅伝大会が開催されます。
 コースは、役場をスタート、ゴールとする24区間約30キロの町

内一周で競われ、それぞれの地区の小学生から公民館役員までの選手が出場。熱戦が期待されます。皆さんの街頭での声援をよろしくお願いします。
 日時 12月1日(日)
 8時10分 パレード
 8時30分 開会式
 10時 スタート

いじめを見たらどうすればよいかということをお話します。いじめを見たら、勇気を出して注意した

り、だれか親しい友人に話したりするなど、その場の対処法について具体的にアドバイスします。

まずは先生に相談し

いじめのほとんどは学校で起きています。

子ども人権オンブズマンの連絡先は宮崎地方法務局

学校教育の場における人権問題は、学校で解決されるのが最も望ましい形です。まずは担任の先生に相談し、家庭と学校が一緒に

子ども人権オンブズマンの連絡先は「子どもの人権110番」
 ☎098512018747

なっていじめを解決することです。しかし、学校の対応が不十分だったり、だれにも相談できず、親や子ども自身が悩みを抱えてしまったりする場合があります。そんなときは、法務局・地方法務局の人権相談窓口を利用して下さい。

町の人権擁護委員
 ○森本秀明
 ○赤池 徹
 (事務所) 52-8580
 ○柿原信知

特に関心のある問題については「いじめ一〇番」などの専用ダイヤルを設けるなど積極的に相談を受け入れていきます。また、「子ども人権オンブズマン」(子どもの人権専門委員)は、いじめや体罰、親による虐待など子どもの人権全般について相談を受け付けています。

宮崎地方法務局都城支局
 都城市八幡町15-110
 ☎22-0490

無料人権相談

☆とき 12月6日(金) 午前10時~

☆ところ 老人福祉センター
 ☆相談員 人権擁護委員
 法務局職員

子ども人権オンブズマン

(子どもの人権専門委員)
 いじめだけでなく、体罰や親による子どもへの虐待など、子どもの人権についてさまざまな問題が起きています。そこで、法務省と全国人権擁護委員連合会では「子ども人権オンブズマン」(子どもの人権専門

委員)を平成6年に発足させました。子ども人権オンブズマンは、法務大臣から委嘱された人権擁護委員の中から選任され、子どもの悩みごと全般について相談のつたり、アンケートを行って子どもの人権に関する情報を集めています。子ども人権オンブズマンの連絡先は、「いじめ三番」でお尋ねください。



子どもの人権を守ろう

「いじめ」しない・させない・見逃さない
 ~わたしたち大人の果たすべき役割とは~

いじめは、成長段階にある子どもの人権の問題です。子どもの人権を守るため、また子ども自身が他人を思いやり人権意識に目覚めていくようにするため、わたしたち大人には、果たすべき役割が当然あるはずですが、「いじめや差別についてどう思っているか」「いじめを見かけたらどうするか」など、いじめについて、家庭で子どもと一緒に話し合ってみましょう。

自殺にまで至る子どもがいるように、いじめを受ける子どもにとっても、学校生活はとてつらく苦しいものです。しかし、その心の痛みは、いじめをする子どもには伝わらないようです。

他人の心の痛みを 分からせる

もし自分の子どもがいじめにかかわっていたら、いかに自分のしていることが残酷で、大変な人権侵害であるということを十分に分からせなければなりません。また、中学生のようにある程度の年齢に達していれば、悪質ないじめを繰

り返し行つた場合、法的・社会的に厳しい責任を負わなければならぬことも教える必要があります。いじめの根本には、自分の存在感や欲求が満たされない子どもが、そのはけ口として自分より力の劣る者を攻撃することで不満を解消するという代償行動があります。親としてはまず、子どものもっている不満の把握に努め、その上で他人の立場や気持ちを思いやる心、いわば人権意識を育てることが大切です。

いじめの見逃しも 許されない

自分の子どもはいじめにかかわっていないとしても、クラスのなかにいじめがあったり、友達がいじめを受けていたりするときはどうすればいいのでしょうか。今のいじめには、いじめをする子どもと受ける子どものほかに、いじめの行為を面白がっている「観衆」や見て見ぬふりをする「傍観者」がいるといわれています。いじめを見逃す行為も、いじめをするのと同じように許されない行為であるということを教え、



人権週間 啓発ポスター

子どもたちの 考えは「いま」

「子どもの声を聞く会」を開催

子供たちは、いま何を考えているのか、またこれからどういう将来像を描いているのか。その声を聞こうと、11月3日（文化の日）、町表彰式の後、「子供の声を聞く会」が開かれました。

会場には、町内の各小中学校の代表児童・生徒9名が、将来の夢



後列左から 飯田さん、園田くん、外山くん、杉野さん、別府さん
前列左から 別納さん、堂領さん、中西教育長、山元町長、今村さん、岡本さん

や環境問題、ボランティア活動などそれぞれの思いや考えを会場いっぱい声大に発表し、詰めかけた町内の民主団体の代表者やPTAの方々、約150名は真剣に聞き入っていました。

その子供たちの声を3カ月にわたって紹介します。

かけがえのない

私のふる里三股町

三股西小学校 五年 岡本小雪



「花と緑と水の町」三股町は、私の愛する町であり、大切なふる里です。たくさん花、深い緑、清らかな水の流れなどの豊かな自然、また、優しく親切な人々、広い道路に何でもそろう商店街。このように三股町は自然の美しさや便利さを合わせ持った町なのです。また、そのすばらしさは反対にゴミのことで少し気になることもあります。

実は、私は以前、両親の仕事の都合で五ヶ瀬に住んでいたことがあります。五ヶ瀬は私にとってもう一つのふる里なのです。五ヶ瀬は、宮崎には珍しくスキー場があるほど雪の多い所でした。私の名前は小雪といいますが、冬の間は雪の前の通り、雪の中で遊んでいました。今でもあの真っ白な雪景色をはっきり覚えています。また、冬の寒さがさびしい分だ

け、春が待ち遠しく、チューリップや山の緑がとても色あざやかだったのが忘れられません。住宅のまわりにはワラビがはえているので、父がいつもとってきては、みそ汁に入れていました。

山はとても深く、秋にはあざやかな紅葉が見られます。

こんなすばらしい自然を持つ五ヶ瀬町ですが、「便利さ」という面から見ると必ずしも住みやすい場所とはいえません。商店街は遠く市内まで買いに行っていました。こちらで言えばちょうど鹿兒島に行くぐらいの感覚です。また、病院も十分はかかりませんし、近くに銀行や郵便局もあります。

本物の自然という点では五ヶ瀬にはかなわないかもしれませんが、三股町には、五ヶ瀬にはない十分な自然と便利さがあります。

三股町ならどこへでも五分や十分。山からでも十分とかかりません。だから、人が住むには最高の場所ではないかと思うのです。人口が増えているのも住みやすい三股に来たいと思う人が多いからではないでしょうか。

私は家族で、よく町内の公園に遊びに行きます。椎八重公園、新馬場公園、上米公園、旭ヶ丘運動公園などその他、多数の公園に春

や秋などをさがしに行くのです。この公園もとてもきれいに整備されていて思いきり遊ぶことができます。街と自然が公園を通して仲よくなっているのが三股町なのです。でもどこへ行っても必ずおかしなくずや空カン、お弁当のくずが落ちています。そんな時はとても残念な気持ちになります。

なぜゴミを捨てたりするのだろうか。なぜ持ち帰らないのだろうかと思うのです。父はよく「ゴミ捨ては個人の心の問題だ。三股町はとてもよく努力している。すべての人がゴミ捨てはしないという気持ちとそれが当然のこととして習慣にならなければ、ゴミはなくならない。」というのです。そういえば先月、椎八重公園に行った時、立て札に「ゴミ箱は置いていないので各自ゴミはお持ち帰り下さい」と書いてありました。これも父の言うゴミは持ち帰る習慣をつけさせたいという三股町の願いなのでしょう。そういうえば何日かしてまた公園に行くと、それらのゴミはなくなっています。だけれかきれいにしているのです。

町の人みんなですうじすること一つの方法でしょう。しかしま

将来の夢

長田小学校 六年 園田空也



ず、私達ひとりひとりが絶対にごみをちらさない心がけを持つことが大切だと思います。そして『花と緑と水の町』の名にはじないように私達が三股町の自然の美しさを

を守っていききたいと思っています。私が大人になったとき、「私のふる里は、三股町なんだよ。日本じゅうで一番すてきな町なんだよ。」と、言えるように……。

ろを見ていると、けっこうおもしろそうだなあと思っています。例えば、ろくろです。ろくろの上で、どんどん形ができていくところを見てみると、おもしろそうだなあと思っています。ほくもやったことがあるけど、すぐぐちゃぐちゃとなってしまうので、むずかしかったです。

ほくが不思議に思うことは、うわ薬をつけて焼いたら、色が変わるうわ薬があることとふつうの絵の具と

ぼくのうちは、焼き物を作っています。日常に使う食器やつば、人形などを作っています。ときどき、展示会などにも出します。

父は、ほくに、焼き物に絵をかいたための薬をすりつぶさせたり、うわ薬の調合を手伝わせたりします。ときには、焼き物に絵をかくのをやらせようとしたこともあり

かだつたらだめなのかということ。これは、大きくなったら調べてみたいと思います。

今、父は、よう変天目茶わんというお茶わんを作るのに、挑戦しています。よう変天目茶わんとい

「まだやらなくてもいいが。」と言って止めます。ほくは、焼き物に絵をかくのは、さすがにやりませんでしたが、父や母が仕事をやっているところ

うのは、光の角度によって七色が現れる茶わんのことです。その茶わんは、昔中国の人が作っただけで、挑戦している人はたくさんいるけど、まだできた人はだれもいないそうです。ほくはまだよく分からないけど、父は何度も挑戦してきた中で、「だいぶ近づいてきたなあ。」とか言っています。

沖永良部研修で

学んだこと

三股中学校 三年 別府久美子



八月二十日から二十五日まで、三股町ふるさと振興人材育成沖永良部研修に行きました。たった五泊六日という短い研修期間に沖永良部島の自然や文化、その他、いろいろなことをいっぱい学びました。

ところで、和泊町には、SSTVという町のTV局があり、町の

こんなところを見ていると、ほくも将来、父の後をついで、陶芸家になつてみたいなあと思います。

そのために、いろいろなことを勉強したいと思えます。仕事の手伝いも、できることならやろうと思えます。

陶芸家になったら、だれにもできないような、すごい焼き物を作りたいです。それとか、陶芸教室を開いて、他の人にも焼き物に興味を持ってもらいたいです。

人たちに娯楽を提供したり、島の正確な天気予報を知らせたりするために開かれたものだと聞きました。特に台風シーズンには、正確な気象情報が島の人にとっては絶対必要なのだそうです。町なのにTV局がある。ということには驚くと同時に「いいなあ」と思いました。スタジオには、何台ものTVがあり、沖繩からの放送も中継しているのだそうです。和泊町内のことも、もちろん放送しています。

こんな町の人には、とっても優しく、私たちのために、食事の用意をしてくれたり、ホームステイ先では、研修課題としていた「方言」について、わかりやすく、親身になって教えてくれました。この優しさになにより私は深く感動しました。

私たちの町三股町は、緑豊かで、水も豊富にあり、大地が広がり、色々な作物が育っています。今年、大きな台風が二回きました。沖永良部には、必ずと言っていいほど台風が何回もやってくるのだそうです。山林が少ない沖永良部島にとって、雨をもたらず台風は歓迎だそうです。

しかし、風台風は塩害をもたらすので迷惑だと言っていました。そのため島には、さとうきびやえらぶゆりなどの台風強い植物が

たくさん育てられています。今もなお、町が農業試験場をつくり、島に適した作物を絶えず研究し、育てているのを見ました。沖永良部のさとうきびは、小さな森林のような役割もしているのだそうです。

しかしこのごろでは、さとうきびばかりではなく、ゆりやスプレー菊の栽培に力を入れる農家が多くなり、町では、さとうきびの栽培を増やすように力を入れているそうです。

このように、私たちはその気候や土地に合った作物を育てているなど、多くのことを学び、一回りも二回りも大きくなって帰ってきました。そうそう「風速五〇メートルまでは慣れています。」と島の人達が言われたのにはびっくりしました。

さて私は、今度の研修を通してこの三股町をもっとよりよくして行くために、まず私たちがしなければならないことは何なのか。考えてみました。それはまず、沖永良部の人達のように、自分たちの町のことをもっとよく知り、自然をもっともっと大切にすること。そして、何より大事なことは、優しい心を持つことじゃないかと、つくづくそう思いました。

私たちが、訪れた人に「ようこそ、三股」と自信を持って言える三股町にしていきたいと思っています。



力走！米田先生

今年の九州一周駅伝は、三股町も沸き上がりました。駅伝第6日目、宮崎県入りをした11月6日、第6区（都城市役所から高城町まで11.8km）のランナーは三股中学校教諭の米田先生。中距離ランナーとして活躍される米田先生の走りが認められ、今大会、県選手団の中では唯一旭化成以外から選ばれました。

この日、第2位でタスキを受け取った米田先生は、街頭に詰めかけた生徒や同僚、陸上関係者などから「先生ガンバレー」などと声援を受け力走。2位を維持し、7区の選手に無事タスキを渡しました。

九州一周駅伝に出場することはランナーの夢。来年も活躍されることを期待します。

樺山の関取が勢ぞろい

第3回樺山相撲大会が11月4日午後、樺山児童館の敷地の一角に設けられた土俵で繰り広げられました。

大会は、子どものすこやかな成長を願おうと今年出生した子ども15人の土俵入りをはじめ、小学生80名による取り組み、今年厄年を迎えた8名の厄払い相撲、町内外の力自慢22名による一般相撲が行われました。

どの対戦も、力が入った戦いが繰り広げられ、会場に詰めかけた約300名の観衆からは大きな声援が飛び交っていました。



日ごろの成果を披露

11月4日午前11時から、町体育館において町文化協会（会長 山元六男氏）主催による第10回芸能発表会が開催されました。

発表会は、詩吟、舞踊、歌謡、三味線、大正琴、民謡など23部で構成され、日ごろ練習した成果を披露。

会場は、約400名の観衆でふくれ上がり、舞踊や演奏などが終了するたびに大きな拍手が沸き上がり、盛況のうちに終了しました。



快拳！中学校駅伝部

県中学駅伝大会は11月8日、男女それぞれ地区予選を勝ち抜いた18校が出場して西都市で開かれ、北諸代表として出場した三股中駅伝部男子は、みごとな走りを見せ、終始独走態勢。2位に2分以上の差をつけみごとに初優勝しました。

同じく出場した女子においては、5区間の内2区間で区間賞を取るなど大健闘したものの、惜しくも第3位。

男子は、来る11月24日久留米市で開催される九州大会に出場するほか、12月26日熊本市で行われる全国大会にも出場します。健闘を期待します。



Photo Snap まちの話題



困っている人のために役立ててください

三股小学校4年生のクラスでは、4月から世界中の病気や食糧難で困っている人々のためのお役に立ちたいと使用済みの切手を集め、このほど目標に達したことから町社会福祉協議会に寄付しました。

その贈呈式が9月22日午後1時、小学校の視聴覚室で、町社協会長の山元町長や関係者の出席のもと行われました。式では、4年生児童81名を代表して4名が集めた切手をしっかりと山元町長に渡し、西村直樹君が「困っている人たちのために役立ててください」と発表。

これに対し、山元町長は「皆さんの気持ちを有難くいただき、お役にたたせていただきます」と感謝を述べました。

県共に5頭出品 大村さん優等10席に

第48回宮崎県畜産共進会（肉牛枝肉の部）は、10月24日宮崎県くみあい食肉高崎工場で開かれ、本町からは5頭が出品。県内100頭の出品のなか、大村福一さん出品牛が見事に優等10席に選ばれました。

なお、表彰式の後にはセリ市が行われ、チャンピオンを獲得した枝肉は、1kg8,000円という高値で取り引きされました。

本町から出品された方々は次のとおり
馬渡芳文（寺柱） 西村勇（谷） 大村福一（上米）
別納軍一（田上） 大盛聖謨（中米）



おめでとう こども郵便局

児童の貯蓄実践活動をたたえる優良こども郵便局地方表彰式が、11月2日サンピア都城で開催され、本町から宮村小学校、梶山小学校、勝岡小学校が九州郵政局長彰を受賞。都城北諸県ではこの3校だけという快挙。

表彰式には、それぞれの学校から校長、担当教諭、児童代表2名、PTA会長が出席し、代表児童に表彰状と記念品が贈られました。

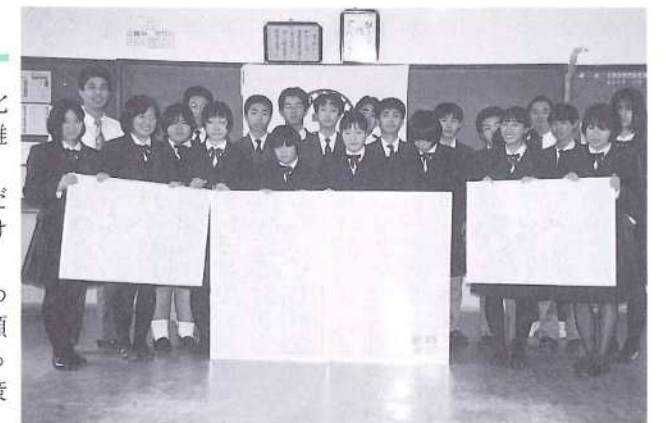
受賞者を代表して、梶山小学校6年の清水彩加さんは、「これからは貯金を頑張りたい」と述べました。

こんなに危険なところがあるとは

都城東高校の青少年赤十字部（部員22名）は、今年の文化祭の展示コーナーに、「町の災害危険箇所マップ」と「避難施設マップ」を製作し展示しました。

これは、多くの人々に少しでも災害について考えていただきたいと、町防災計画を参考に10月ははじめから約2週間かけて製作に取り組んだもの。

ほとんどの生徒は、「こんなに危険箇所があるなんて思わなかった」と驚きの表情を隠しきれなかったといいます。顧問の福元先生は、「少しでも生徒が災害について興味を持ってくれば大成功です」「これからは、生徒たちと一緒に災害対策について学習して取り組んでいきたい」とお話されました。



陸上記録会 3種目で大会新

町内の小学校6年生児童を対象に、10月29日、旭ヶ丘運動公園陸上競技場で小学校陸上記録会が開催され、男女あわせて14種目で熱戦が繰り広げられました。

記録会では、勝岡小学校の中藤翔くんが100mで12秒9、走り幅跳びで4m62cm、宮村小学校の宮里幹さんは80m障害で14秒0の記録を出し大会記録を塗り替えました。

各種目、第6位までに賞状が贈られ、一般100m走は各組3位までに賞状が贈られました。



新矢立トンネル貫通

県道都城～北郷線の新矢立トンネルの貫通式が11月1日現地で開催されました。

この工事は、国の「交流ふれあいトンネル橋りょう整備事業」として総事業費約27億円あまりを投じて、平成7年3月から行われており、平成10年3月の完成を目指して進められています。

トンネルの延長は1,021m、幅8.5mで完成すると、これまでに比べて75mの高低差がなくなり、延長で約2km短縮、都城～北郷の走行時間が約10分短縮できます。

式では、関係者約100名が見つめるなか県土木部長ら3名が発破のスイッチを押し、トンネルが貫通。その後、河野助役と植野章一北郷町長などによる通り初めの儀が行われ、貫通を祝いました。

ふれあい標語10名を表彰

健全で明るい家庭づくりのために毎年行っている「親と子のふれあい標語」の優良作品の表彰式が、11月3日、「子どもの声を聞く会」にあわせて行われました。

今年は、応募多数の中から、小学校の部、高校生の部、一般の部に分けられ厳選された結果10点が優良作品に決定しました。



親と子のふれあい標語優良作品

小学生の部	1. 「手をとめて こどものこえに 目と耳を」	宮村小学校 1年生 松原 優
	2. 「たのしい ことばの キャッチボール」	三股西小学校 2年生 戸村 亮太
	3. 「やっぱりおいしいな みんなで食べる ばんごはん」	宮村小学校 3年生 原村 久美子
	4. 「夕食は 家族みんなの 笑顔」	三股西小学校 4年生 町元 春香
高校生の部	5. 明るい家族 いつも笑顔があふれてる」	長田小学校 5年生 小牧 慈枝
	6. 「楽しさを 笑顔で発信 よい家庭」	梶山小学校 6年生 坂本 えりか
一般の部	7. 語ろうよ 会話は我が家の 幸せづくり」	都城西高校 2年生 原口 留美
	8. 「みえますか あなたをおもう 親の愛」	三股町梶山 鍋倉 恭子
	9. 「共感で 囲む食卓 子供が光る」	三股町蓼池 堂村 美津子
	10. 「親と子の 明るい対話 未来に夢を」	三股町上米 中原 不二男

図書室だより

No.106



新刊図書のお知らせ

〔一般向〕

胸の香り 宮本 輝
家族狩り 天童 荒太
猫たちの隠された生活 エリザベス・M・トーマス
知のモラル 小林康夫・船曳建夫
トリックの心理学 樺 且純
第十の予言 ジェームズ・レッドフィールド
まんぶく劇場 室井 滋
図解感染恐怖マニュアル 室井 滋
病原体との共存を考える会
初めての話の本 丸山 浩路
こころの日曜日 菅野 泰蔵
明日では遅すぎる 大原 一三
カープ島サカナ作戦 椎名 誠
こころとからだ 五木 寛之

〔小・中学生向〕

おかあちゃんきてください 奥田 継夫
みじかくなつたかよのかみ 清水 達也
ちびねこビツクリがんばる 浜 たかや
ひみつのカーテン 北原 和美

つじさんちのさかなつり

ふたりぼっちのおるすばん 中島 信子
けむりの水 北村 けんじ
なぞのXとおぼけだよんていくん 加藤 多一
しっぽが五本 山本 斐子
ネコジャラシはらっぱのモグラより 山本 斐子
エミにきた手紙 吉田 道子
浜 たかや

〔幼児向〕

しあわせ レイフ・クリスチャン
わたしのせいじやない レイフ・クリスチャン
かみしばい
もぐはかせのきょうりゅうつて なあに? 山本 省三
はらへこきょうりゅうおあはれ 間瀬 なおたか
がんばれノきょうりゅうステゴ サウルス 伊藤 章夫
のんびりきょうりゅうのんのん きょうりゅうチャンピオンは テイラノサウルス 中村 美佐子
きょうりゅうのきょうりゅうつて トマトはかせのきょうりゅうつて うぶつえん ゆきの ゆみこ

休館日のお知らせ

12月の休館日 (中央公民館図書室)

日	月	火	水	木	金	土
①	1	2	3			
②		9	10			
③	15		17			
④	22	23	24			28
⑤	29	30	31			

数字は休みの日。

1月の休館日 (中央公民館図書室)

日	月	火	水	木	金	土
①			1	2	3	4
②		6	7			
③		13	14	15		
④	19		21			
⑤		27	28			

数字は休みの日。

※年末年始は休館日が続きますので本の返却はお早めにお願います。

きりしまんぢだ

●山之口町

○村おこし朝市

日時 12月8日(日)午前7時～

●会場 JR山之口駅前広場

内容 新鮮農産物販売

問い合わせ 役場企画開発課

☎57-3111

●財部町

○NHK健康フェア

開催日 12月8日(日)

会場 きらめきセンター

内容 ポール牧健康トークほか

問い合わせ 役場社会教育課

☎72-1111

●その他

○文化講演会

日時 11月30日(土)午後2時～

会場 宮崎産業経営大学

演題 現代生活と寿命の低下

講師 食生態研究所所長

西丸 震哉

三股小学校PTAによる交通安全標語

- ◇STOP! ストップ すとっぷ!!
みんな止まって右左
上原 小百合(谷)
- ◇飛び出すな 命は一つ大切に
木佐貫 辰生(山王原)
- ◇あわてるな 待てばまたくる青信号
福留 綱行(上米)

きりしまんぢだ写真公募
テーマ 霧島連山が見える大地の生活に伝わる行事や郷土芸能、祭、歴史、自然など
受付 平成9年2月1日より
2月28日まで
問い合わせ
フォトスタジオオカワサキ
☎24-6636

今年町内で発生した交通事故(人身事故のみ)

平成8年9月30日現在
発生 51件
死者 1人
負傷者 62人

